学びの庭

平成二十五年五月号

文責　瀬古口

部活動を通して得られるもの

他の県の２年生の作文です。ご紹介します。

勉強、友達との会話、先生たちとのやりとり、さまざまな行事。中学校では毎日多くのことを経験し、いろいろなことを学びます。その中でも私は、中学生ならほとんどの人が関わる部活動について話します。

私が通う中学校には、たくさんの種類の部活動があります。体育系では野球部、サッカー部、ソフトテニス部、柔道部や剣道部などあります。吹奏楽部、クラフト部、英語部など文化系の部活動に入って、毎日頑張っている人たちもいます。

体育系、文化系、どの部活動にも共通することは、まず「縦割りの集団」であるということです。

縦割りの集団では、一年生は二年生・三年生の先輩の指示を聞いて動き、二年生はいずれ自分たちが部活動をまとめていくことを考えながら精神面も技術面でも自分を鍛えることが必要になります。そして三年生は最上級生として、後輩の見本になり、部をまとめ、ひっぱっていかなければなりません。

部活動で学ぶ縦割り集団は、将来自分が大人になった時に役立つことがたくさんあると思います。なぜなら、どんな仕事でも、どんな場面でも、先輩・後輩という関係は存在するものだからです。会社の場合を考えてみても、そうだと思います。会社の上司への接し方と、部活動での先輩への接し方は、年齢は異なりますが、ほぼ同じことだと思います。敬語の使い方、後輩への気配り、気づかいなど、中学校の間に身につけておけば、きっと将来役に立つと思います。先輩だからといって、偉そうにふるまっているだけでは後輩はついてきてくれません。また、常に友達のような感覚で先輩と話していては、社会に出たときには通用しない人間になってしまうかもしれません。部活動で、正しい先輩・後輩のあり方を学ぶのは、技術の面よりも大切なことだと思います。

部活動のもう一つの特徴は、共通する趣味の、同じ学年の仲間との関わりがもてるということです。先輩・後輩とはまた違う、同い年の仲間とのつながりは、自分を成長させてくれます。私はソフトテニス部に入っていますが、負けている試合で、友達からの声援を聞くと、力がわいてきて、逆転できたりもします。これは、入部した時から、つらい練習や楽しい練習など、いつも一緒に過ごしてきた仲間の力だと思います。どんな時でもお互いに励まし合える友達、くじけそうになりそうな時に支え合える友達、思いを一つにした集団が作れるのも部活動の魅力です。

そうはいっても、部活動を三年間続けることは、本当に大変です。好きで入ったはずの部活動。それなのに、思うように練習ができなかったり、顧問の先生から厳しくしかられたり。楽しいはずが、つらいことばかりが続くように思えてしまう日もたくさんあります。それでも、今、私が頑張りつづけているのは、たくさんの三年生の姿を見てきたからです。

三年生、夏の最後の大会。全国に続くこの大会は、今までどれだけ自分が頑張ってこられたか、続けてきたことの答えが出ます。三年間本当に努力してこられた先輩達の引退式を見て、一番に思うことは、「同じことを続けることは何よりも大切なんだ。」「仲間と一緒に過ごす毎日は自分の宝物になるんだ。」ということです。嫌なことも、しんどいこともたくさんある中、励ましあえる仲間と共に乗り越えていくことで、肉体的にも精神的にも成長できます。

私は試合の後に先生に厳しく指導されたりすると、すぐに落ち込んでしまいます。つらくてやめてしまいたいと考えたこともあります。しかし、あえて厳しいアドバイスをくれる先生の気持ちや、試合を一緒に戦って、そして勝てた時の喜びを思い出すと、今のしんどいことも「乗り越えてやろう」と思えます。私一人ではそんなふうには考えられませんが、先輩、後輩、そして仲間の存在が、私を強くしてくれます。私に頑張る勇気を与えてくれます。

部活動は、確かにしんどいこともたくさんあります。けれど、その先は自分の人生のプラスになるできごとや出会いが必ず待っています。私は、夏の大会で満足できる答えが出せるよう、三年間しっかり部活動を続けて、本当の意味で自分を成長させたいと思っています。みなさんも部活動を通して、今よりもさらに素晴らしい自分になって、自分の手で自分の人生を輝かせてください。

Topics

四月十七日（水）に行われた新入生歓迎会の部活紹介の様子です。